

2020 Junior Rugby 卒業記念交流試合



ONE TEAM 横浜 RS

令和2年9月21日（月）
三郷セナリオハウスフィールド

南茨城ラグビースクール
桐蔭学園中学校
横浜ラグビースクール
世田谷区ラグビースクール

☆実施に至る経緯について

6月4日(木)14:00。日本ラグビーフットボール協会より単独ラグビースクール、中学校の日本一を決定する「太陽生命カップ2020第11回中学生ラグビーフットボール大会」について中止の連絡がありました。目標を失いがちなところ、各地方で県大会の実施、卒業記念試合の実施などを考えておられる方もいらっしゃるかと思います。日本一を目標に日々精進してきた南茨城RSでは「最後はもし負けたとしても悔いを残さず全力でプレーしたい！」選手の強い希望を受けて、日頃から交流の機会を頂いている世田谷区RS、横浜RSさんに我々の思いを伝えたと、趣旨にご賛同いただき3チーム共同で全国大会・太陽生命カップに代わる「2020 Junior Rugby 卒業記念交流試合」の実施を検討するに至りました。大勢の観客の前でとはいかないかもしれませんが彼らが有終の美を飾ることを目的としてプロジェクトを立ち上げた次第です。

☆主催者あいさつ

中学ラグビーの目的は心身共に成長するこの時期に、ラグビーを通じてラグビーの楽しさに加え、仲間と一緒に必死で頑張る、チームメイトと同じ目標に向かって進む、そして自分を犠牲にしてもみんなのために努力すること。それらを学んで、学生生活のみならず、今後の人生における生きる力を選手たちが身に付けてもらいたい。そういう思いで指導者たちは日頃の指導に関わっています。

試合の機会が少なく、どこを目標にすればいいんだろう？そういう状況での練習再開。大人は彼らのモチベーションを心配していました。でも彼らはいつも通り頑張っています。恐らく、仲間が好き、ラグビーが好き、ラグビーができることに感謝！いろんな思いがあって、これまでに経験したこともない大きな壁を、彼らは乗り越えようとしています。その頑張っている様子、仲間といるときの笑顔を間近で感じると、心の奥がポッと熱くなり、同時に感動さえ感じます。僥越ながら最終年度の中3選手たちの活躍の場を何とか作り上げたいという世田谷さん、南茨城さんと思いをお供にさせていただきました。

首都圏に近い地域にスクールが複数ある県はまだ県大会が残されています。しかし、そうでない県もたくさんあります。その県の選手たちのためにも、発揮する場を作り上げたいという思いがあります。安全に大会が開催されることを条件に、この秋にどこかで中学最終年度の彼らのために、県を超えた形での交流戦を実現したい。一人でも多くの皆様が我々の趣旨に賛同していただけると幸いです。

令和2年6月 横浜ラグビースクール ジュニア責任者・監督 井ノ口昌吾

☆主催者あいさつ

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、太陽生命カップも中止。3年間太陽生命カップを目指してトレーニングを続けてきた選手たちにどのようなモチベーションを提供できるか、関係者の方々は皆様頭を抱えていらっしゃるかと思います。私共世田谷区ラグビースクールの中学3年生は、小学校卒業時に次のラグビーの選択肢はいくつもあった中、みんなで、世田谷でヒーローズカップに続き太陽生命カップの制覇を目指そうと集った仲間たちで、活動自粛期間中もそれを夢見て自宅トレーニングを続けてきました。他のスクールの皆様、中学校の皆様も同様なそれぞれのバックグラウンドを抱えていらっしゃると思いますが、私共は太陽生命カップ中止が決まった今、南茨城ラグビースクールさんからのお誘いが正にその夢の実現に繋がると考え、趣旨に賛同させて頂きました。全国規模の大会を目指す中、どこで大会を行うのか、その費用は、新型コロナウイルスの対策は、等々課題は沢山ありますが、我々大人が頑張っってその難関を乗り越え、選手たちにその姿を見せることも立派なコーチングの一つと考えました。皆様、何卒ご協力賜れますよう宜しくお願い致します。

令和2年6月 世田谷区ラグビースクール 中学部 ヘッドコーチ 山田良和

☆主催者あいさつ

2013年、常総ジュニアラグビークラブ中学部の小菅HCから「彼らのコーチを」と誘いを受けて再びグラウンドに通いだしたのが私と南茨城RSとの関わりのスタートでした。以降、彼らの熱心に取り組む姿、若者の成長を見ることに喜びを覚え、毎週末をグラウンドで過ごすようになりました。

昨年は「2019太陽生命カップ10回記念トーナメント」で茗溪学園と同点優勝。選手、保護者、関係者みなさんの献身的ながんばりで、わずか7年でスクールとしても大きく成長し、結果を残すことが出来ました。5人で練習していた頃からHCが口にしてきた「日本一を目指すぞ！」やっと現実的な目標になってきたところです。さらに成長した選手達は結果よりも自分たちで目標を設定、そこに到達する険しい道のりを楽しめるようになりました。

さあ今年こそ！そんな矢先でのコロナウイルス感染症に伴う活動休止でした……。交流戦実施に向けてまだまだ強い向かい風ですが、選手はまだ毎週末の練習に全力で取り組んでおり、コーチ陣一同、頭が下がる思いです。

どうか多くの未来ある中学生ラグーマンに活躍の場を！プロジェクト実施に向けてご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

令和2年6月 南茨城ラグビースクール 監督 濱田 正之

新型コロナウイルス感染症の蔓延から交流大会実施まで

新型コロナウイルス COVID-19 とは・・・

coronavirus disease 2019 を略した言葉です。2019 年の終わりごろに中国武漢市から発生したのを皮切りに、あっという間に世界中に感染が拡大しました。8 月末現在、全世界の死亡者数は 84 万人に達しています。

コロナウイルスは人から人へと感染して、発症します。感染した人が咳やくしゃみをしたり、他の人に近づいてしゃべったりすることが、感染の主な原因になっています。まったく症状がなくても感染していることがあり、人にうつすこともあります。感染すると、発熱や咳、息苦しき、味覚障害等の症状が現れ、感染が肺に及んで肺炎が起きると呼吸困難に陥ります。ほとんどの人は軽い症状ですむようですが、持病をお持ちの方、高齢者などは重症化のリスクが高いと言われています。世界中の多くの地域では、外出を控えて周りの人と一定の距離をとるように要請を出して、感染の拡大を遅らせようと努力していますが、いまだ終息の兆しが見えていません。

2020 年 1 月末。日本でコロナの話題が出始めたとき、まだ自らのこととは思えず、まさか毎週末のラグビーが出来なくなるとは考えられませんでした。2 月の連休、南茨城・岩手・世田谷の交流戦。翌週からも予定は組まれていたので「どうでしょうかね？出来ないこともないね…」などと担当者同士で話しているうちに状況はあっという間に一変してしまいました。

3 月に入ると安倍晋三首相の宣言による学校休校、店先からマスクが消え、連日の感染者数、死亡者数の報道をテレビの前で見ているだけ。ゴールデンウィークは自宅で待機、緊急事態宣言が発令され手の施しようがない状況になってしまいました。



当初は 3 月の東日本大会は出来るだろう・・・太陽生命カップ 6 月の予選は大丈夫だろう・・・菅平合宿は・・・。結論としては中学生の公式戦は本年すべてが中止となり、日本ラグビー協会のトレーニング再開のガイドラインに沿って、コンタクトなし、発声なしの練習からの再開までも 3 か月以上がかかりました。

2019年。ラグビーワールドカップを通じての各スクールの体験会には受け入れきれないほどのちびっ子の姿が。残念ながらコロナウィルスの蔓延で前例のないラグビーブームは一気に終焉を迎えるのではと思っていました。



4月、自粛中の南茨城ラグビースクール。心配をよそに次から次へと入部希望の問い合わせメールが対応しきれないくらいありました。学校の統廃合も進む茨城の田舎にもかかわらず、過去最大40名近い新入部員が活動自粛を明けるのを待つことになりました。「これは何かしなくてはいけない！特に3年生については・・・」早くから公式戦の中止を予想していたことから、考えを巡らせているところにまったく同じようなことを考えていた世田谷RSさんから連絡があったのが事の始まりです。

全国大会準優勝2回、長崎ラグビースクールは保護者説明会まで開催して最も早く参加の意思表示をしてくれました。2018年ラグビースクール日本一、吹田ラグビースクールは地域での感染症蔓延も進む中、最後の最後まで方々を説得して回り参加調整を進めてくれました。その他にも3年連続日本一東海大仰星中学校、福岡県チャンピオン帆柱ヤングラガーズ…。長野、岩手、群馬など依頼したすべての方が参加を希望しておられました。残念ながら実際には関東圏以外から参加することは出来ない状況になってしまいましたが、皆さんの様々な思いを引き受けて、支えて頂いた仲間、家族、コーチ、協賛していただいた団体、感謝の気持ちを込めて・・・

きっと参加チームについては皆さんベストパフォーマンスを見せてくれると思います。

(南茨城RS関係者より)

☆大会スケジュールについて

9月5日(土)にオンラインにて組み合わせ抽選会を実施し以下の組み合わせを決定いたし

ました。各チームのAチームによるトーナメントの他、女子選手含め全3年生が中学最後のプレーを存分に楽しむことが出来るようにBチームの交流戦も実施します。その他にも参加者全体での写真撮影やイベントも企画しています。

準備（全員参加）

第一試合 10：00 世田谷区ラグビースクール VS 桐蔭学園中学校

第二試合 11：00 南茨城ラグビースクール VS 横浜ラグビースクール

休憩 12：00～13：00 昼休みイベント実施

第三試合 13：40 横浜ラグビースクールB VS 南茨城ラグビースクールB

第四試合 14：00 南茨城ラグビースクールB VS 世田谷区ラグビースクールB

第五試合 14：20 世田谷区ラグビースクールB VS 横浜ラグビースクールB

休憩

第六試合 15：00 三位決定戦

第七試合 16：00 決勝戦

表彰式・全体記念写真撮影

撤収（全員参加）

☆協賛団体について

コロナ禍において自チームの活動にも多くの制約がある中で今回の試みについてご賛同いただき協賛いただいた団体、学校について以下の通りご案内いたします。

リコーブラックラムズ

NECグリーンロケッツ

早稲田実業ROB倶楽部

目黒学院高等学校ラグビー部

昌平高等学校ラグビー部

流通経済大学柏高等学校ラグビー部

桐蔭学園高等学校ラグビー部OB会

東海大相模高校ラグビー部

カンタベリーショップ横浜店

その他、プログラム印刷締め切りの都合で記載されていない場合がありますが会場でご紹介させていただいた通り、他にも多くの方からのご支援ご協力を頂いております。

参加チーム名：茨城県ラグビー協会所属 南茨城ラグビースクール

監督／代表者：濱田 正之

ヘッドコーチ：西機 真



ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)
PR	1	城 央祐	3	182	85	WTB	16	菊池 歩	3	175	70
HO	2	下村龍生	3	172	74	SO	17	阿部煌生	3	176	68
PR	3	中村つぐ希	3	180	80	CTB	18	落合佑太	3	176	73
LO	4	金井大信	3	175	65	BK	19	福田 大和	2	176	75
LO	5	柴崎颯太	3	175	70	FW	20	大石琉輝	2	175	75
SH	6	長津颯馬	3	165	60	FW	21	松元 樹	2	176	73
SO	7	大森幹太	3	165	60	FW	22	廣瀬心太	2	165	68
WTB	8	内田楓良	3	167	62	FW	23	高桑寅史	2	165	67
CTB	9	橋野 遼	3	167	60	FW	24	小野寺琥太郎	2	174	78
CTB	10	石嶋咲月	3	158	58	FW	25	熊谷鼓太郎	2	182	70
WTB	11	松崎粹生	3	166	60	FW	26	山内 禮	2	167	82
FB	12	西機大河	3	174	60	BK	27	山下丈二	2	165	65
SH	13	島川 翼	3	168	58	BK	28	廣岡大輝	2	165	60
SH	14	田中 薫	3	164	58	BK	29	山下蒼生	2	160	55
WTB	15	脇島颯也	3	174	64	BK	30	池田龍之介	2	165	57

ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)
-------	----	----	------------	------------	-------	----	----	------------	------------

BK	31	高木悠生	2	168	65	BK	36	森 泰良	2	163	63
BK	32	稲田 脩	2	175	67	BK	37	植木秀哉	2	165	58
BK	33	大竹美優	2	160	60	BK	38	石嶋花菜	2	160	58
BK	34	荒川俊一郎	2	167	66	FW	39	野口 健	2	176	75
BK	35	永沢拓夢	2	175	66						

☆決意表明

この状況の中このような場を設けてくださった3チームのコーチ、これまで支えてくれた保護者に感謝します。小学生の頃から全国制覇という目標がありましたがその機会が無くなった今、この場に全て出しきり悔いのないように戦い抜き、楽しみたいと思います。

共同キャプテン 城 央祐

僕は南茨城RSに入って仲間の大切さを学びました。毎週土日の辛い練習もこの仲間とだったから楽しく乗り越えられたと思います。そんな仲間と共に3年間の想いを最後の試合にぶつけます！

共同キャプテン 阿部 煌生



参加チーム名：東京都ラグビー協会所属 世田谷区ラグビースクール
 監督／代表者：山田 良和

ヘッドコーチ：高木 毅



ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)
SH	1	今村哲太	3	166	63	SH	16	ホドビー花	3	146	46
FW	2	岩淵心香	3	158	55	PR	17	前田麟太朗	3	177	95
WTB	3	ヴァイット・クリス	3	168	62	CTB	18	牧錬太郎	3	170	85
LO	4	遠藤直輝	3	173	83	FW	19	宮沢怜玖	3	172	76
FW	5	川勝瑛萬	3	167	55	FB	20	持木太心	3	180	97
HO	6	佐藤龍吾	3	177	75	WTB	21	山口健真	3	170	68
FW	7	白倉羽琉	3	168	84	WTB	22	山中脩叶	3	160	63
FW	8	仙台怜大	3	177	92	FW・BK	23	吉岡楓貴	3	164	55
PR/CAP	9	高木涼平	3	176	105	SO	24	吉田晃己	3	165	68
WTB	10	舘慶次郎	3	168	75	FW	25	石原遼	2	160	62
CTB	11	田中大斗	3	168	73	BK	26	内田晴	2	170	72
FW	12	谷武龍	3	165	62	BK	27	梅永敬太	2	162	55
WTB	13	福室堅大	3	162	60	BK	28	蟹江海晴	2	165	58
LO	14	ブルース・カイル雄太	3	187	78	BK	29	木下巴琉	2	152	52
SH	15	細矢一冴	3	170	61	FW	30	黒木美海	2	157	60

ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)
FW	31	後藤陸	2	169	76	FW	38	長山晃久	2	160	52

FW	32	小林光	2	167	115	FW	39	西田權	2	164	74
BK	33	小林利人	2	165	60	FW	40	山口陽太郎	2	164	58
FW	34	櫻井喜丸	2	160	60	FW	41	横山諒平	2	161	72
FW	35	申驥世	2	168	80	BK	42	吉田采生	2	153	46
BK	36	田中颯	2	172	60	BK	43	渡邊匠	2	156	52
BK	37	トウ・ヒグ・ナサニエル	2	165	59						

☆キャプテン決意表明

中学生最後の年、互いに高めあえる相手がいって、試合ができることをとても嬉しく思っています。また、このような機会をあたえてくださったコーチの方々や日頃からお世話になっている両親、そして相手チームには感謝の気持ちでいっぱいです。太陽生命カップに出場できないことは残念ではありますが、しかし、我がチームの『貫く』というスローガンを胸に、この大会での勝利とともにチームとしての規律を守り続けることに挑み、本当の意味でのNO.1をつかむことにチャレンジできることが楽しみです。

キャプテン 高木 涼平



参加チーム名：神奈川県ラグビー協会所属 横浜ラグビースクール

監督／代表者：井ノ口 昌吾

ヘッドコーチ：中西 聡



ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)		
FW	1	朝岡 拓海	3	166	59	SO	19	福井 柊哉	3	176	64
SH	2	飯田 隼敏	3	167	60	FW	20	山口 剛広	3	163	62
LO	3	市村 太一	3	179	75	SH	21	吉田 太郎	3	162	59
FW	4	井村 春斗	3	171	68	CTB	22	岩崎 真浩	2	176	66
HO	5	植木 亮次	3	168	62	FW	23	臼井 大晟	2	167	82
WTB	6	大久保陽斗	3	180	70	SO	24	大塚 優代	2	170	61
WTB	7	岡部 晏人	3	172	64	WTB	25	小川 健輔	2	171	64
FW	8	小野 晴人	3	176	70	FW	26	長田 聖也	2	171	73
FW	9	川滝 光	3	165	70	SH	27	北川 太陽	2	157	53
LO	10	今野 旬	3	170	63	WTB	28	木村 心翔	2	173	70
LO	11	佐藤 克樹	3	168	59	CTB	29	鷺坂 隼希	2	154	40
FB	12	佐藤 智哉	3	170	78	SH	30	佐藤 世那	2	163	66
FW	13	志村 悠成	3	181	80	LO	31	柴田 正剛	2	167	60
FW	14	田中 健心	3	170	79	CTB	32	竹ノ内惟真	2	176	66
SH	15	田中 凜	3	156	50	FW	33	中島 一成	2	172	68
CTB	16	中野 誠章	3	176	90	SH	34	那須 陽麦	2	160	43
LO	17	中森 真翔	3	185	75	FW	35	成田 樹	2	160	50
WTB	18	濱田功太郎	3	166	52	LO	36	野畑 睦人	2	168	51
ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション	氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)		
LO	37	林田 良人	2	164	50	HO	44	山岡 大祐	2	156	49

CTB	38	平坂 桜士	2	165	65	SH	45	山下 若菜	2	158	43
FW	39	牧田 玲大	2	166	84	CTB	46	游作 蒼	2	163	62
FW	40	松本 瀧矢	2	161	84	HO	47	横田 実優	2	158	70
SO	41	水口 陽琉	2	171	63	SH	48	吉田 壱	2	154	54
FW	42	宮下 隆誠	2	175	78	FW	49	渡辺 哲平	2	160	53
WTB	43	森田 義大	2	161	46						

☆キャプテン決意表明

このような状況で試合をする場を設けてくださったコーチの皆さん、ありがとうございます。小さい時からこの仲間たちと共に高め合ってきました。太陽生命カップのような大会に出場することは叶いませんでしたが、今できる試合を精一杯やり切り、スクールのスローガンでもある、「STAY STRONG&SMILE」を胸にみんなで楽しみたいと思います。今までやってきた仲間と集大成をグラウンドで見せます。

キャプテン 中野 誠章

☆バイスキャプテン決意表明

『STAY STRONG&SMILE!!』

この言葉を胸に大会の運営や日々の練習で厳しくも僕たちのために尽力してくれているコーチ、いつも練習と試合で送迎などのサポートをしてくれている両親、ここまで一緒にプレーしてきた仲間への感謝や恩返しができるように一試合一試合に全力を尽くします。

バイスキャプテン飯田 隼敏



参加チーム名：神奈川県ラグビー協会所属 桐蔭学園中学校

監督／代表者：坂詰 洋平

ヘッドコーチ：深見 柗真



ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)	ポジション		氏名	学年	身長 (cm)	体重 (kg)
LO	1	井吹勇吾	3	175	110	FW	13	大柴輝明	3	170	93
HO	2	中内啓貴	3	178	96	FW	14	竹内才貢	3	164	56
PR	3	平井脩雅	3	178	96	FW	15	志和悠太郎	3	165	62
LO	4	落合毅	3	180	72	BK	16	中村鷹優	3	170	61
LO	5	服部壮馬	3	177	85	BK	17	高山恭太郎	3	161	53
SH	6	千葉諒雅	3	171	71	BK	18	平野麟太郎	3	160	47
SO	7	関隼輔	3	170	60	BK	19	武居泰獅	3	176	73
WTB	8	池田剛基	3	177	65						
CTB	9	多久島駿	3	171	75						
CTB	10	田中海一	3	167	62						
WTB	11	山田晃生	3	170	68						
FB	12	前田優吾	3	180	78						

☆キャプテン決意表明

まずはこのような状況の中で、交流大会を開催してもらったことに感謝したいと思います。また、強豪チームと対戦出来ることを嬉しく思っています。久々の試合のなのでどのチームも完成されていないと思いますが、チーム全員で全力で向き合い、そして戦い、悔いが残らないようにしたいです。

キャプテン 井吹 勇吾

☆記念写真の提供について

太陽生命カップにおいて写真提供をしていますフォトクリエイトよりスポーツカメラマン

を2名派遣していただいています。チーム写真、参加者全体写真、スナップ写真等を撮影していただき全3年生に写真データを卒業記念品としてプレゼント致します。大会終了後はご希望の方についてはオンラインにて記念パネル、フォトブック等をご購入することが可能です。チームごとにご案内させていただきます。

☆試合のライブ配信について

期日：2020年9月21日(月・祝) 9:00～17:00

場所：セナリオハウスフィールド三郷

撮影主体：朝日新聞社

撮影業者：株式会社アイネックス

撮影人数：朝日新聞社2名、アイネックス2名

撮影方法：サイドライン中央にカメラ1機を固定設置し撮影(試合中のカメラ移動なし)

発電機2機を持参し電源を確保する予定、撮影機材、撮影風景は下記に画像添付

撮影内容：全4試合の映像を撮影し、インターネットで動画配信

配信方法：朝日新聞社のオンラインイベント配信システムを使用

ライブ配信(無料)とアーカイブ配信(有料)を実施

視聴方法：視聴には朝日新聞社のオンライン共通IDに登録が必要(クローズド方式)

アーカイブ視聴価格：検討中



☆最後に・・・

たくさんのご支援ご協力を頂きなんとか実施を迎えることができました。コロナ禍での活動には数えきれないくらいの高いハードルがあり全部を乗り越えることは出来ませんでした。それでも目標も見えない中でも毎週末の練習に全力で取り組んできた成果を発表する場が出来たことは非常に喜ばしく思っています。中学最後の活動として行き届かないところもあったとは思いますが主催3スクールの関係者も精一杯の努力をしました。

皆さまの今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

MEMO
